



静岡県言語・聴覚発達障害
教育研究会
寺谷 正博 様
中野 宣昭 様

共に生きる



■自己紹介

私、寺谷は現在、静岡市の特別支援教育センター内に設置されている、通級指導教室に勤務しております。障害のある子供達との出会いは、自分が大学生の時、以後30年間、通級指導教室や養護学級で障害のある子供達とお付き合いさせていただいております。

■今回の趣旨

私は中野と申します。まず、皆さんは「特別支援教育」という言葉を耳にされたことがありますか？実はこの言葉は、比較的新しい教育用語で、平成19年から実施されたものです。これ以前も障害のある子供達の教育は、養護学校・聾学校・盲学校・特殊学級などを中心として展開されていましたが、それとの違いは「障害の程度等に応じ、特別の場で指導を行う(特殊教育)から障害のある児童生徒の一人一人の教育的ニーズに応じて、適切な教育的支援を行う『特別支援教育』への転換を図る。」というものです。つまりその子が養護学校にしようが、普通学級にしようが、必要があれば必要な支援を行う教育になったということです。

■これから生きるわれわれは

世界の大きな流れからすれば、著しく国の制度も国民の意識も遅れていると言わざるを得ない状況にあります。それでも最近では、「障害のある人もそうでない人も共に生きる社会づくり」が進められてきています。こうしたことから、われわれが、障害のある子供や人に接する機会は多くなっていくものと思われまます。

■最後に

われわれ教師は、障害について教えることがあります。今までは「障害のある人のため」、「恵まれない人のため」の慈善的な感覚で教えてきました。しかしこれからは、「だれかのため」といった感覚を乗り越えていかなければなりません。

障害を理解することは、「これからの時代を生き抜いていくための術」であり、重要な資質だという思いで、子供達に教えていく必要があります。



■委員会報告

- 米山記念奨学会事業委員会（太田委員長）
10月は米山月間です。皆様方の暖かいお志をお願いいたします。
- スマイルについて（望月威男会長）
以前は年間100万円程のスマイルがありました。
去年1年間で55万円でしたので、今年度はスマイルの回数が増えるようお願いします。

■出席報告..... 針谷委員長

	月/日	総会員数	出席者 合計	会員欠席	出席率	メイク アップ	確 定 出席率
前々回	9/13	46名	36名	7名	—	(名)	83.7%
前 回	9/27	46名	36名	6名	—	(名)	90.4%
本 日	10/4	46名	38名	5名	88.0%	(名)	—